

虫のレストラン



ねらい 人工樹液に集まる虫を観察し、親しむ。

時間 60分

場所 林の中

人数 1人以上

季節 春、夏、秋

用具 おわん、はけ、えさ（肉、カルピス、バナナ、黒砂糖、焼酎、はちみつなど）

1
いち



用意したえさを使って、調合を変えた2～3種類のえさを班ごとにつくります。
※もっと簡単な方法として、使い古したストッキングに黒くなったバナナを入れてもできます
この場合、虫の観察が終わったら必ずストッキングを回収して下さい。

2
に



虫が来そうな木にはけで塗りつけます。この時、その場所に塗ったえさは
どんな割合で調合したえさなのかメモを残します。

3
さん



夜や明け方にどんな虫がきているのか観察に行きます。

4
よん



観察した虫のリストを作り一覧表にまとめ、
班ごとにどんな虫が来たかを発表します。

5
ご



最後にその虫たちが生きていくには
森や林が必要であることを話してまとめます。

POINT

- えさを食べに来た虫たちは、レストランに来たお客さんであることを子どもたちに伝え、手を出さずにそっと観察するようにして下さい。

